

# ちょっとまって 電磁波社会

## 危険な『オール電化住宅』

電磁波の安全許容値は0.1mG  
(ミリガウス)

電磁波過敏症になると0.3mGの電磁波で痛みを感じるそうです。電磁波研究家の荻野晃也博士は「本来は0mGが望ましいが安全な磁界強度は0.1mG」と言われています。クロス・カレント～電磁波“複合被爆”的著者で電磁波を研究してきたベッカー博士も「10mG以上の家に住む人は引っ越し」と書かれています。国際がん研究機関や各国の研究でも4mGになると発ガン・白血病が増加すると報告されています。

### IHコンロは50mG以上



### IHコンロで火災発生！

IHコンロでも火災が発生する。IHコンロは天ぷら油を最低500~900cc以上入れなければ温度センサーが感知する前に発火温度に達し火災が起こる。IHコンロは空焚きで底がすぐに過熱し、各地で火災が発生しており消防局もIHを安全と過信しないで火災に注意するようにと警告している。

〒573-0028 大阪府枚方市川原町1-5  
自然環境センター TEL&FAX 072-843-1904  
mail sizen\_roba@yahoo.co.jp 定価180円

このリーフレットを使われる時は御連絡ください。

### 電磁波の国際的規制値について

スウェーデンは1993年から2~3mGを目安に対策を開始。スイスは10mG、米国アーバイン市は4mGに規制され世界各国では電磁波の規制は年々厳しくなっています。これに対して日本は現在規制値がなく何万ガウスの電磁波が出ていても公的には止める方法がない状態です。電力会社も50Hz地帯で1000mG、60Hz地帯で833mGを安全ラインとし、日本は危険な電磁波が野放し状態で飛び交う国です。

### 日本政府も直ちに電磁波対策を！

- 1.電磁波の規制値を設定する
- 2.規制値を超える設備には警告ラベルを貼り人々に危険を知らせる
- 3.電磁波過敏症の治療研究に資金を出し発症した患者の救済に取り組む

### これからはタバコのような警告ラベルが必要



### 電磁波過敏症を予防するには？

- 1.できるだけ電磁波をあびない
- 2.電磁波を測定し電磁波の少ない場所で生活
- 3.電気製品は電磁波発生の少ない機種を選ぶ
- 4.電気製品は使わない時はコンセントを抜く
- 5.電気以外のエネルギー使用を優先する
- 6.合成添加物など化学物質使用をなくす  
(化学物質過敏症の原因アレルギー物質を身体に取り込まないことが電磁波過敏症の予防になる)
- 7.電磁波により減るメラトニンなどを補う  
(食事・薬などで補給する)

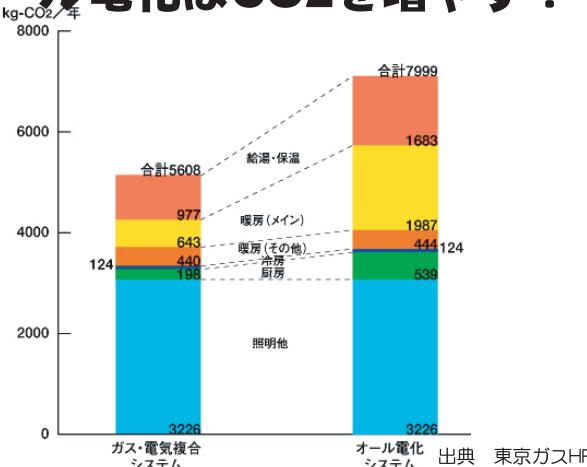
### オール電化は昼の電気代が高い！

通常料金23.32円

オール電化で契約すると深夜電気代は70%引き、逆に昼間の電気代は16%アップします。昼の10時から17時は通常の電気代より高いので昼、電気を多く使えば普通より電気代が高くなります。

またIHコンロやエコキュート、電気床暖房などは何千ワットもの電気を使うので驚くほど電気消費があがります。深夜電力で温水を作るエコキュートも保温中に湯が冷めてしまい、とても効率が悪く、お昼の時間帯に追い炊きをすれば通常より高い電気代を支払うことになります。

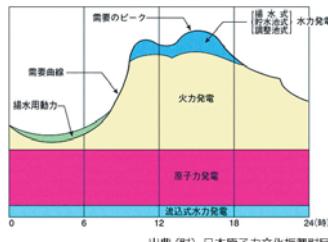
### オール電化はCO2を増やす！



### 深夜電力が安いのはなぜ？

#### オール電化の目的は 原子力発電推進=深夜電力の消費

原子力発電は常に100%出力運転しかできないため需要が減っても発電量を減らせません。深夜は電気が大幅に余り捨てている状態です。オール電化は省エネ・経済性という名目で大量に余る深夜電力を売ることが一番の目的です。



高圧送電線の近くでは小児白血病が2倍以上増えるという結果が日本を含めた世界中の疫学調査で確認されています。その証拠をもとに2002年に国際がん研究機関(IARC)が極低周波磁場に対して「発がんの可能性あり」という評価を行いました。

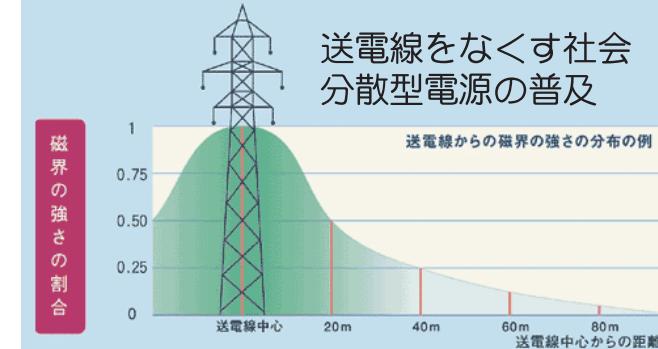
#### IARC評価結果

| GROUP | 評価内容  | 例  | 数     |
|-------|---|--|-------|
| 1     | ヒトに対して発がん性がある<br>(carcinogenic to humans)                                       | コールタール、アスベスト、喫煙、アルコール飲料、カドミウム、ダイオキシン     | 87種類  |
| 2 A   | ヒトに対して恐らく発がん性がある<br>(probably carcinogenic to humans)                           | クレオソート(防腐剤)、ディーゼルエンジン排気ガス                | 63種類  |
| 2 B   | ヒトに対して発がん性がある可能性がある<br>(possibly carcinogenic to humans)                        | わらび、クロロホルム、ガソリンエンジン排気ガス、コーヒー、極低周波磁場(ELF) | 232種類 |
| 3     | ヒトに対する発がん性については分類できない<br>(cannot be classified as to carcinogenicity in humans) | カフェイン、お茶、コレステロール、極低周波電界                  | 496種類 |

日本の疫学調査でも4mGの低周波磁場に曝露すると小児リンパ性急性白血病の発症率が4.73倍に脳腫瘍が10.6倍になるという結果が出ています。国立環境研究所「電磁波最終報告書」



### 電磁波を減らす社会の実現



太陽光発電

燃料電池

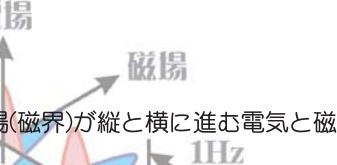
各家庭が自家発電で生活する「分散型電源時代」が来ています。それは送電線のない社会で電磁波もない社会です。現在、分散型電源で最も実用化が近い方法は太陽光発電と燃料電池です。

燃料電池は燃料に水素を使い、水素を供給する原料として「ガス」が注目されています。また太陽光発電もコストダウンにより1kw=25円時代が迫っていますが「オール電化」のように調理、暖房、給湯に電気を使えば現在の自家発電量ではとても足りません。太陽光発電は3kw/hが一般的ですが普通の家電製品なら3kwあれば十分足りますが「オール電化」だとIHコンロだけで5kWありコンロも動きません。

自家発電で生活するには徹底した省エネ節電が必要でオール電化住宅に使われている大量電気消費器具は使うべきではありません。ガスの方が効率的なことを電気でするのは最悪の浪費です。

またオール電化住宅には「ガス管」がありません。将来、電磁波過敏症になりガスを使いたくなても、燃料電池の原料にガスが必要になった時でもガスを使うことはできません。地球温暖化防止のために現在はオール電化より、ガスと電気を両方使うのが最善の選択です。

### 電磁波とは？



電磁波は電場(電界)と磁場(磁界)が縦と横に進む電気と磁気エネルギーの波です。

○電界強度はKV/m (キロボルト・バー・メートル)

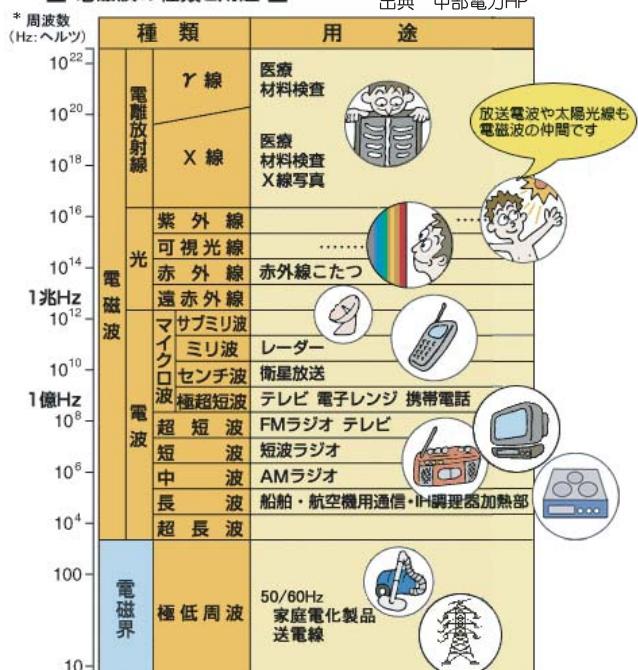
V/cm (ボルト・バー・センチメートル)

○磁界強度は1G (ガウス)=1000mG(ミリガウス)

1T(テスラ)=10000G(ガウス)で表します。

生物に有害といわれるのは送電線や家電製品から放射されるELFと呼ばれる極低周波(0~100ヘルツ)交流磁場(磁界)と携帯電話、電子レンジ等から発生するマイクロ波(300MHz~3GHz)です。

#### ■電磁波の種類と用途 ■



### 電磁波は誰が発見した？

概念 ファラデー (1792-1867) イギリス

電界・磁界の概念を考案 トランスと発電機を製作

理論 マックスウェル (1831-1897) イギリス

磁界・電界の関係を電磁方程式で説明

光(可視光線)が電磁波だと予言。

実証 ヘルツ (1857-1894) ドイツ

マックスウェルの電磁方程式を実験で検証した。

1Hz(ヘルツ)=1秒間に1波長の電磁波

波長の長さ = 1Hzの波長の長さは30万km(光の秒速)

60Hzの波長 = 30万/60 = 5000Km

# ちょっとまって 電磁波社会

## 携帯電話の危険

子どもが使うと特に危険

携帯で脳しゅよう

歐米では携帯電話を使う人は脳腫瘍にかかりやすいという研究結果が多数発表され脳腫瘍になった人々が携帯電話会社に損害賠償を求める裁判が起こされています。また、子どもの脳は携帯の電磁波を大人より吸収しやすいため子どもが携帯電話を使うリスクはとても大きいと考えられています。

**イギリスでは15歳以下の子どもは携帯電話の使用をしないように政府が勧告しました。**

しかし日本では逆に子ども専用携帯が販売されています。

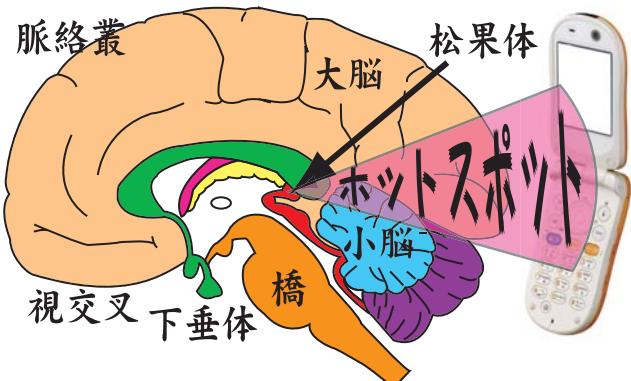
通勤電車の恐怖

携帯は電源をOFFにしない限り「待ちうけ」電磁波を発信しています。電車内は何十台という携帯電話が電磁波を出し金属製車内でマイクロ波が反射、人間が電子レンジの中にいるのと同じ状態になっています。

マイクロ波→脳（松果体）へ集中

メラトニン減少（脳内ホルモン）

頭痛、耳鳴り、しびれ、心臓部への圧迫感



2001年1月4日付、週間宝石の記事によると「大阪府門真市末広町では過去13年間で死亡した160人中82人がガン、18人が白血病で死亡。ガンの発生率は全国平均の20倍、白血病は全国平均の100倍もあった。これは関西電力古川橋変電所と高圧送電線からの電磁波の影響と考えられている」



また同記事によると横浜駅からJR根岸線で約20分。洋光台駅と港南台駅の中間に広がる丘陵地帯でガンや白血病で死亡する人が多発している。丘陵地帯から1.5kmに住む主婦(43才)が乳ガンになり、隣の奥さんも乳ガンで50代前半で亡くなり、斜め向かいの奥さんは52歳で白血病に、その隣の奥さんは膠原病、さらに50代のお医者さんが肝臓ガンで亡くなり奥さんも乳ガンで手術をしたというように一帯でガンと白血病になる人が増えている。これは丘陵の尾根沿いに海上保安庁、NTT、NHK、FM放送局、建設省の緊急避難用電波塔、携帯電話会社など6基の各種電波塔があり更に住宅地を15万7千ポルトの高圧線が走っているため、マイクロ波と低周波の複合ヒバクによる影響と考えられている。

## 電磁波は身体を壊し不動産を暴落させる！

家を買ったり借りる時は近くに電波塔、無線基地局、変電所、高圧送電線がないかを確認し、住宅内部の電磁波を測定した方がいいです。電磁波ヒバクのある家は健康を破壊させ不動産価格を暴落させます。

**オール電化住宅は10年後には投げ売りになる可能性があります。家の近くに無線基地局が建設されれば不動産の価値が暴落します。健康と財産を守るために電磁波のない家で暮らしましょう。**

**大分県別府市でNTTドコモ九州の携帯基地局建設の操業差止仮処分を求め小学生・幼児28名が原告となり大分地方裁判所に提訴しました。**

右の文は2002年7月25日に原告の小学校六年生の女の子が口頭弁論で陳述したものです。

イギリスでは15才以下の子どもたちは携帯電話の使用をしないようにと教育省が全国の学校に勧告を出しています。この裁判はイギリスの勧告を受けて日本の小学生と幼児たちだけが原告になりました。

この子どもたちの真剣な声を、ぜひ聞いてください。

## 全国に増える携帯電話基地局



（忍者型）

携帯電話の契約数が**1億**を突破し、携帯基地局がいたるところで建設・設置されるようになりました。2006年度上期の携帯電話基地局数は**12万1,330局**で今後5年間でさらに10万台以上の新設が計画されています。基地局の増加で住民と携帯電話会社間のトラブルが各地で急増し、中継塔からの電磁波によって電磁波過敏症になる人が増えています。

携帯電話市場が飽和状態に進む中、携帯電話事業者各社は子どもを取り込もうと2006年2月にジュニアケータイ、3月にキッズケータイが発売されました。子どもの携帯は防犯のために持たせるのが大半ですが、子どもは通話時間も長く、マイクロ波ヒバクによる身体への影響が心配です。



## 《私が裁判で言いたい事》

私は『健康』ということはとても大事だと思います。そして『生きる』ということも大事です。その二つを電磁波は失うものかもしれません。ここで危険かもしれない電磁波をあびてはいけられん、裁判できちんと言っておきたいことはいつおがんといけん!と思ひに立つことにしました。

この裁判で自分の将来が決まるのかもしれない。いや自分だけでなく、この地域のたくさんの子供達の将来が決まるのかもしれないと思っています。電磁波が有害だったとわかり白血病やガンになら、それこそ一生の終わり。

幸いにもこの電波塔から出る電磁波に危機感を持ち、子供を守ろうと立ち上がってくれた地域の方々がいて、弁護士さんがいて、色々な人がいて、今こうしてチャンスをあたえられている気もします。

またNTTドコモ九州の「おどし」や「うそ」もゆるせません。そんな中で私も「何かせんといけん」という気持ちがわいてきました。だから法廷で意見を述べようと思いました。

まず、春木川地区についてです。この春木地区や春木川校区は、大勢の子供が住んでいたり、幼稚園や学校に通っています。その中で将来へ向けて努力している人はいっぱいいます。努力をつみ重ねつみ重ね、やっと大人になり、社会へ出た時にガンになったり白血病になって、と中で夢をたたらどんな気持ちになるか想像して下さい。

もし電磁波が有害だったらとすると、とてもこわいです。電磁波を流して電磁波が有害だったら、もしかすると私は大人になって友達が白血病になったとかを耳にすることになるかもしれません。だれだって知り合いで苦しんだりすることなんて見たくなり、そう式やおつやなんでしたぐない。しかもまだ若い人は、自分だって例外でいえなくなるかもしれないし、考えるところ。そうなると、これから産まれてくる人も同じになるのではないか。

さらに、この電波塔の事についてNTT側は理にかなっていません。「安全だ、安全だ」と言ってるくせに実験の一つもしていない。ただ決め言葉は「国の基準の三千分の一ですから安全です」と。私が聞くとただ「国の基準」という前例からみて、たしかに甘そうなものにすがっているだけで人の命に対して無責任すぎる。そんなことじや、危険かもしれない、健康や夢、将来、そして命をもがいそうなものを「はいはい」と言って許す人はいないでしょう。

そうか!NTTドコモ九州は、別に電磁波の安全研究なんでもなく、新しくて、画面の質も良くて若者がとびつきそうなケータイの開発研究をすれば、お金はかかるんですね。さらにもう少し気づきました。この地域の子供達が「実験動物そのもの」として電磁波を流すことは実験なんじゃないかと。でも、そんな実験のために命をあずけるなんてできない。

私達は夢や志をいだき、これからの人間社会をつくっていく子供達です。お金大好きで人の命なんてどうでもいい人の金もけや実験の道具になって死んだりするために生まれて、今まで生きてきたんじゃないんだ!

さらにまた、おかしく道理はずれなことがある。

ふつう、危険があつたり危険かもしれない事はさて通ると思います。まして危険だった時は命もけや体の自由もけや。それに大変なめいわくはNTTドコモ九州側ではなく周辺住民にかかります。NTTドコモ九州はこの電波塔が使えなくなるまで金もけやができます。これっておかしくないですか。

研究もせず、国の基準のことしか言わない無責任な業者が命を失うかもしれないこの電波塔のことをおし進める権利はないと思います。以上

## 福岡県篠栗町の携帯電話基地局条例～抜粋～

- 第5条 事業者は、基地局の設置・改造にあたり、建築確認申請が必要な建設行為またはそれが不必要的建設行為に係わらず、工事着工前に町へ事前協議書及び事業計画を提出します。
- 2 事業者は、町との協議後、近隣住民に周知のうえ説明会を開催し、基地局の設置・改造への近隣住民の理解を求めます。
  - 3 事業者は、事業計画が近隣住民の理解の下に進められるよう十分配慮します。
  - 4 一省略
  - 5 事業者は、基地局の設置・改造を行なう場合、その計画地が保育園・幼稚園・小中学校・児童館・病院・介護施設から、また通学・通園路からなるべく離れた地点となるよう努め周辺環境に十分配慮するとともに必要な措置を講じるよう努めます。

## 甘すぎる日本の携帯電波規制値

中継基地局からの高周波規制値（国際比較）

| 国名等     | 規制値                       | 備考             |
|---------|---------------------------|----------------|
| 日本      | 1000 μW/cm <sup>2</sup>   | 1.5GHzの場合      |
| イタリア    | 10 μW/cm <sup>2</sup>     |                |
| 中国      | 6.6 μW/cm <sup>2</sup>    |                |
| スイス     | 4 μW/cm <sup>2</sup>      | 連邦政府が2000年2月より |
| ロシア     | 2.4 μW/cm <sup>2</sup>    |                |
| ブリュッセル  | 2.4 μW/cm <sup>2</sup>    | 予定             |
| フォローゲン州 | 0.001 μW/cm <sup>2</sup>  | オーストリア（提案中）    |
| ザルツブルグ  | 0.0001 μW/cm <sup>2</sup> | オーストリア（室内・勧告中） |

出典：大久保貞利氏著「誰でもわかる電磁波問題」など参照

## 住民の反対で基地局撤去（週刊金曜日06年12月号）

Mさん(女性45歳)は2001年に電磁波過敏症を発症。治療のため数年前に神奈川県鎌倉市へ引越。症状は改善した。ところが06年10月上旬、Mさん宅から約170メートルの地点で基地局建設工事を自爆。工事関係者の話から「10月末に稼働する予定」とわかった。その時点で住民への説明は一切なく、建設地の地権者にも電磁波のリスクは知らされていなかった。

Mさんら周辺住民は、ドコモに工事の中止を要請する一方、電磁波の勉強会や建設に反対する署名運動を開始。約90戸ある地域で190筆の署名を数日間で集めた。そして関係機関へ要望書を提出しようとしていた10月26日「地元住民の大半の反対と、電磁波過敏症の住民に配慮して基地局の撤去を正式に決定した」とドコモ側から連絡が入り基地局は撤去された。

## 電磁波過敏症の時代

WHO(世界保健機関)は2005年12月に出したファクトシート(No.296)で電磁波過敏症の存在を初めて認め、その症状として、皮膚発赤、チクチク、灼熱感、倦怠、疲労、集中困難、めまい、吐き気、動悸、消化不良などをあげています。

日本でも厚生労働省委託の「シックハウス症候群の研究」の中で電磁波過敏症を紹介する研究報告書が2007年1月19日に同省ホームページに公開されています。この報告書は日本の電磁波過敏症治療を中心となっている北里研究所病院と北里大学の最新研究報告です。電磁波過敏症患者は年々増加しており、狭い国土に無数の高圧線と無線中継局や電波塔がありオール電化住宅を建設している日本では今後、電磁波過敏症患者が爆発的に増えると予想されます。

## 2017年には2人に1人が電磁波過敏症！

2006年に医学雑誌「電磁生物学と薬学」に、2017年には世界人口の50%が電磁波過敏症(EHS)になっているとの驚くべき内容が報告されました。報告者は、スウェーデンのハールベルグ独立研究所のハールベルグ氏(Orjan Hallberg)とオーストリア・ザルツブルク公衆衛生局のオバーフェルド博士(Gerd Oberfeld)で、欧米7ヶ国の調査を基に算出した予測値です。

## それぞれの国、年度における電磁波過敏症の推定発症率

| 調査年  | 発症率% | 国名と報告年度     | 参考                                |
|------|------|-------------|-----------------------------------|
| 1985 | 0.06 | スウェーデン1991  | National Encyclopedia Sw., 1991   |
| 1994 | 0.63 | スウェーデン1995  | Anonymous est., 1994              |
| 1995 | 1.50 | オーストリア1995  | Leitgeb N. et al., 1995, 2005     |
| 1996 | 1.50 | スウェーデン1998  | SNBHW, Env. report, 1998          |
| 1997 | 2.00 | オーストリア1998  | Leitgeb N. et al., 1995, 2005     |
| 1997 | 1.50 | スウェーデン1999  | Hillert L. et al., 1998, 2005     |
| 1998 | 3.20 | カリフォルニア2002 | Levallois P., 2002                |
| 1999 | 3.10 | スウェーデン2001  | SNBHW, Env. report, 1998          |
| 2000 | 3.20 | スウェーデン2003  | Sw Labour Union Sif, 2003         |
| 2001 | 6.00 | ドイツ 2002    | Schroeder E., 2002                |
| 2002 | 13.3 | オーストリア2003  | Spiβ B., 2003                     |
| 2003 | 8.00 | ドイツ 2003    | Infas, 2003                       |
| 2003 | 9.00 | スウェーデン2004  | Elverkäntsligas Riksförbund, 2005 |
| 2003 | 5.00 | スイス 2005    | Bern, Medicine Social, 2005       |
| 2003 | 5.00 | アイルランド2005  | This is London, 2005              |
| 2004 | 11   | 英国 2004     | Fox E., 2004                      |
| 2004 | 9.00 | ドイツ 2005    | Infas, 2004                       |
| 2017 | 50   | (推定50%)     |                                   |